



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2011年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

mobile.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」本紙、当社ホームページをご覧ください。

首相、慎重論押し切る

野田佳彦首相は11日、環太平洋連携協定(TPP)交渉へ参加することを表明した。同日夜、官邸で記者会見し、関税撤廃が原則のTPPで貿易立国としてアジア太平洋地域での高いレベルの経済連携を日指すとともに、交渉に当たっては十分な情報提供と農業分野などの対策強化で国益を最優先すると説明し理解を求めた。

農業への打撃や政府側の説明不足を理由に早期の交渉参加表明には慎重論が根強かったが、これを

押し切った形。今後の政権運営で首相は厳しい立場に立たされそうだ。

米議会への90日間の「通告期間」などがあるため、実際の交渉入りは来春以降の見通し。交渉では農産物などで関税撤廃の原則に例外を設けられるかどうかが大きな焦点となるが、各国の利害対立で難航が予想される。

議(APEC)首脳会議の際にオバマ米大統領らTPP関係国首脳に、交渉参加方針を伝える考えだ。交渉参加の是非を検討してきた民主党プロジェクトチームは9日の総会で、紛糾の末に「慎重に判断する」よう求める提言をまとめた。首相は10日に交渉参加を表明する意向だったが、党内の慎重論の高まりに配慮、「1日ゆっくり考えさせてほしい」と急ぎよ先送りしていた。



野田佳彦首相

TPP交渉参加表明